

「アクティブラーニングと探究的学習」

日 時：2017 年 1 月 8 日（日）13:00～18:00・9 日（月祝）9:00～16:30

場 所：東海大学代々木キャンパス

主 催：NPO 法人理科カリキュラムを考える会・東海大学教育開発研究センター

協 賛：(株)アイカム／(株)アルファ企画／(株)内田洋行／(株)島津理化／(株)第一学習社／(株)ナリカ／福村出版(株)

参加者：大学教員、高校教員、中学校教員、小学校教員、マスメディア、一般

参加費：（事前申込）一般 3,000 円 会員・東海大学関係者 2,000 円 学生 1,000 円 参加費は

（当日申込）一般 3,200 円 会員・東海大学関係者 2,200 円 学生 1,000 円 当日会場にて

参加申込：理科カリキュラムを考える会 HP <http://www.rikakari.jp/> からお申し込みください

中 継：講演の一部をインターネット経由でライブ中継

問合せ：NPO 法人理科カリキュラムを考える会事務局 小川慎二郎 rikakari.jimu(at)gmail.com

〒177-0044 東京都練馬区上石神井 3-31-1 早稲田大学高等学院

次期学習指導要領の目玉として、初等・中等・高等教育におけるアクティブラーニングが導入されようとしています。理科では、探究的な活動を中心とした取り組みをすることが盛り込まれています。しかし、探究活動をどのように授業に組み込んでいくのか、どのように評価していくのかは、これからの課題です。

これまでに実践されてきた例などを学びながら、文部科学省の方針や、諸外国における状況を踏まえて、これからの理科教育にどう活かせるのかを議論します。

1 月 8 日（日） 12:00 開場【第 1 部：新しい学習指導要領と探究的な学習】

13:00～13:30 開会挨拶「アクティブラーニングと探究的学習」 滝川洋二（本会理事長・東海大学）

13:45～15:00 講 演「新しい学習指導要領について-PISA・TIMSS の結果を踏まえて」 清原洋一（文部科学省）

15:00～15:30 休 憩

15:30～17:00 ワークショップ「21 世紀型学力構築に向けたカリキュラムマネジメントの検討-シンガポール・マレーシア・インドの視察を踏まえて」

白数哲久（昭和女子大学附属昭和小学校）

17:00～17:30 発 表「英国における理科の探究活動」

高橋和光（本会理事・杉並区立大宮中学校教諭）

17:30～18:00 全体討論「新しい学習指導要領と探究的な学習」

18:30～20:30 懇 親 会（3000 円程度・代々木八幡駅近く）

1 月 9 日（月祝） 8:30 開場【第 2 部：アクティブで探究的な学びを実践するには】

9:00～9:10 挨拶「アクティブラーニングと探究的学習」 滝川洋二（本会理事長・東海大学）

9:10～9:40 報 告「新学習指導要領と探究的な学び」 石渡正志（本会理事・甲南女子大学）

9:40～10:40 講 演「探究的な学習と『探究活動』の機会の提供について」 笠 潤平（香川大学）

10:40～10:55 休 憩

10:55～12:25 分科会発表（40 分×2）

各発表者・各企業

12:25～13:30 昼 食 / 企業展示 / ポスター発表

※美味しいお弁当（お茶付 1000 円・事前注文のみ）をご用意します。

付近に食堂等がありませんので、お弁当を注文されない場合は昼食をご持参ください。

13:30～14:00 分科会報告

各分科会記録者

14:00～15:15 講 演「学び合いを実現する授業」

永島孝嗣（麻布教育研究所）

15:15～16:30 全体討論「アクティブで探究的な学びを実践するには」

企業展示

(株)アイカム／(株)アルファ企画／(株)内田洋行／(株)島津理化／(株)第一学習社／(株)ナリカ／福村出版(株)

ポスター発表

P1「アクティブラーニングは子どもたちが自然科学を獲得することで成り立つ」佐々木仁（相模原市立鶴園小学校）

P2「小学校理科第 4 学年単元「海のやくわり」の実現に向けて」市川洋 他（日本海洋学会教育問題研究会）

P3「米国 NGSS の試み」小川慎二郎（早稲田大学高等学院）

分科会発表

A1「探究型授業実践の試み」小河原康夫（慶應義塾高等学校）

A2「福岡県生物部 PBL 合宿を運営して」田中真（福岡大学附属大濠高等学校）

B1「学びを促す教科書」山崎慶太（小中高理科カリキュラム研究会）

B2「最新の ICT 基盤を活用したアクティブラーニング授業法の新展開-明治 150 年に挑んだ科学教育の源流・目標を甦らせる試み-」小林昭三（新潟大学）

C1「三鷹実験教室でのガリレオ工場の探究実験」原口智（ガリレオ工房）

C2「アクティブラーニングで学ぶ放射線教育-小・中学校と科学館（コミュニティ福島）との連携-」佐々木清（福島県環境創造センター交流棟コミュニティ福島）

D1「発見・感動・創造性 ～アクティブラーニングにドーム映像『いのち探検』を～」(株)アイカム

D2「ICT を利用したアクティブラーニングの提案」(株)ナリカ

D3「アクティブラーニングを促す理科機器」(株)内田洋行

D4「能動的な授業展開を推進する教材の紹介」(株)島津理化